

リニア中央新幹線トンネル工事現場付近での湧水、気泡発生の原因究明の徹底を求める意見書

2024年10月22日町田市のリニア中央新幹線トンネル工事現場に近い住民の家の庭で、地下から湧水と気泡の発生が確認された。JR 東海によると、湧水、気泡の調査結果として、人体や環境に影響を及ぼすものではないと公表し、掘進工事を中断して工事との因果関係を調査している。

リニア小野路工区のトンネルは、地下40メートルを超える大深度地下をシールドマシンで掘り進めるものであり、同様の工事手法で、調布市では2020年外環道工事に伴う道路陥没事故が起きている。町田市でも、住民から調布市同様の被害が起こるのではないかと心配する声も上がっている。

リニア中央新幹線の工事では、岐阜県で水源井戸の井戸枯れや地盤沈下、また崩落事故などが起こっているほか、静岡県の大井川の水量減少の懸念もあり、因果関係を調査中である。

今回の事態を受けて、改めて大深度地下の利用やシールド工法だけでなく、リニア中央新幹線についての検証が必要であり、南アルプスをはじめ日本の貴重な自然、地下水保全のためにも、徹底した原因究明をすべきである。

よって、町田市議会は国に対し、以下を求める。

- 1 原因究明にあたっては国が主体的に調査をし、過程や資料も含めて情報を公表すること。
- 1 因果関係が判明するまでは、地域住民の安心安全の生活のため、掘進工事を進めないよう JR 東海に対し指導すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。